

## ブロック塀等の安全対策について

区では、平成30年6月の大阪府北部地震のブロック塀倒壊事故を受けて、「通学路及び避難路」に面するブロック塀等を対象としたブロック塀等改修工事助成制度を創設し、助成制度の利用促進に努めてきました。しかしながら、危険ブロック塀等の解消には至っておらず、通学路等以外にも危険ブロック塀等が存在し、相談も多数寄せられていることから、令和2年度から「区内全域」の道路に面する塀を対象とする新たな助成制度を創設することにしましたので、現行制度の実績とあわせ、以下のとおり報告します。

### 1 新たな助成制度の概要

#### (1) 対象路線

- ① 幅員4m以上の通学路
- ② 緊急輸送道路として東京都耐震改修促進計画に記載された道路
- ③ 上記①、②を除く幅員4m以上の建築基準法及び道路法の道路

#### (2) 助成対象

- 次に掲げる要件を満たすブロック塀等の撤去または撤去・新設費用の一部（新設のみを除く）
- (ア) 対象路線に面するブロック塀、組積造の塀、万年塀（いずれも土留め一体の塀を含む）
  - (イ) 道路面から高さ80cm以上のもので、ブロック塀点検のチェックポイント（別紙）に掲げる基準のいずれかを満たしていないもの
  - (ウ) 上記（ア）、（イ）に関わらず、区長が特に必要と認めるもの

#### (3) 助成額

対 象	工事種別	助成額	限度額
対象路線①、②に面するブロック塀等	撤去	撤去費用の2/3	50万円【75万円※】
	撤去及び新設	撤去及び新設費用の2/3	100万円【150万円※】
対象路線③に面するブロック塀等	撤去	撤去費用の2/3	50万円【75万円※】
	撤去及び新設	撤去及び新設費用の2/3	50万円【75万円※】

※いずれも助成額算定では、撤去費用は23,000円/m【34,000円/m※】を超えないこと

※【】内の金額は土留め一体の塀の場合

### 2 事業規模

年間 50件（5か年合計250件）

※ 新たな助成制度については、実績を踏まえて効果検証を行い、導入後5年を目途に見直しを実施することとする。

### 3 他事業との連携

#### (1) 狭あい道路拡幅整備事業

狭あい道路のうち通学路については、平成 30 年 11 月に、拡幅整備を伴う塀等の撤去・新設工事に対する助成制度（重点整備路線及び整備地区と同等）を設けたところである。今回創設する 4 m 以上の路線を対象とする新たな助成制度では、対象を区内全域に拡大することから、狭あい道路についても、これまで助成の対象ではなかった通学路以外の路線を加えた制度を新たに設け、塀等の撤去と拡幅整備を推進していく。

#### (2) 接道部緑化助成事業

現行の制度と同様に、新たな助成制度の対象となるブロック塀等の撤去後に接道部緑化（生けがき・植え込み・フェンス緑化）を行う場合にも、本助成制度の対象とする。

### 4 平成 30 年度及び令和元年度助成実績（令和 2 年 1 月 31 日現在）

	平成 30 年度（11 月～3 月）	令和元年度（4 月～1 月）
助成件数	14 件	12 件
助成額	11, 104, 000 円	15, 134, 000 円

### 5 今後の取組みについて

- ① 令和 2 年 4 月 1 日より実施（予算成立後）
- ② 助成制度の周知（広報すぎなみ、区公式ホームページ、各種イベント、町会等回覧板等）及び相談会の開催
- ③ 通学路及び避難路沿道の危険ブロック塀等を主に、個別訪問等による改善勧奨

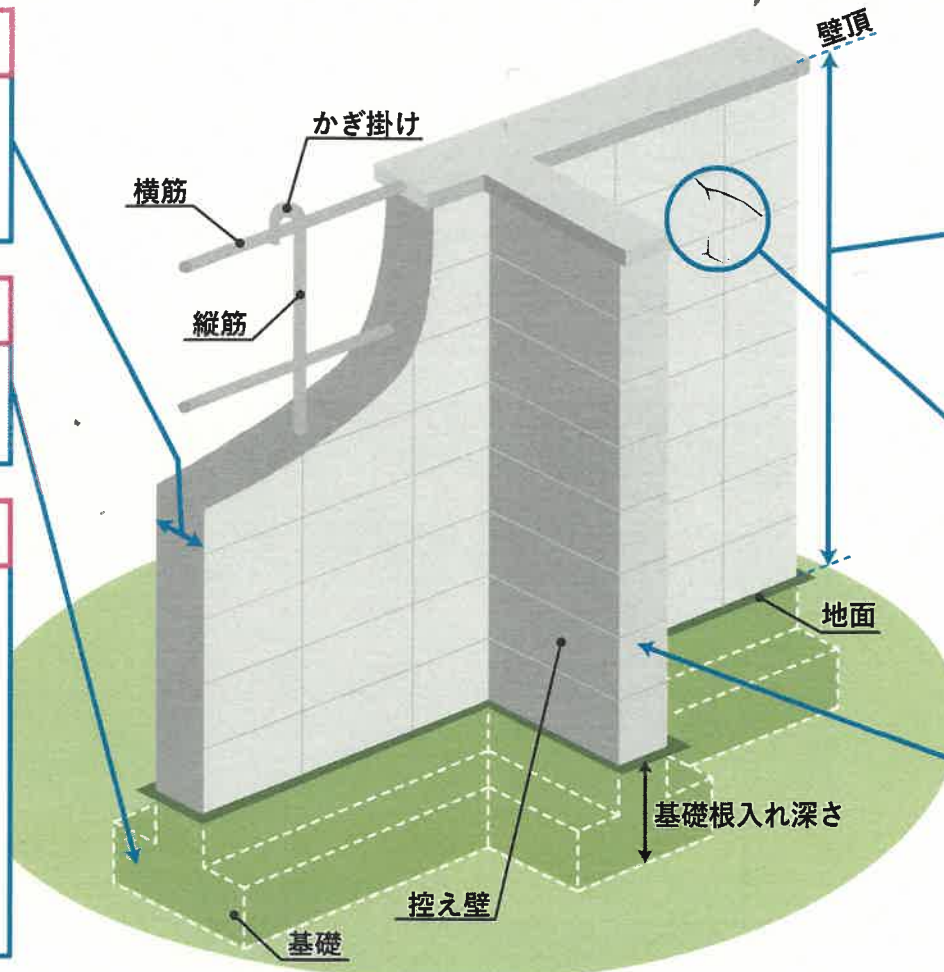
# ブロック塀点検のチェックポイント (安全性の確認項目)

別紙

- … はい
- × … いいえ
- △ … わからない

①～⑥の□の中に、左記のとおり記号を記入して下さい。  
 1つでも×または△がある場合は、専門家にご相談ください。  
 <緑文字>は、組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の場合

<b>4</b>	<b>塀の厚さ</b>	<input type="checkbox"/>
塀の厚さは、10cm以上である。 ※塀の高さが2m超の場合は15cm以上 <壁頂までの垂直距離の1/10以上>		
<b>5</b>	<b>基礎の有無</b>	<input type="checkbox"/>
コンクリート基礎がある。 <同上>		
<b>6</b>	<b>鉄筋・基礎根入れ深さ</b>	<input type="checkbox"/>
<専門家にご相談ください>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 塀に鉄筋が入っている。                      直径9mm以上の鉄筋が、縦横80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている。</li> <li>● 基礎の根入れ深さ30cm以上                      ※塀の高さが1.2m超の場合のみ                      &lt;鉄筋不要・根入れ深さ20cm以上&gt;</li> </ul>		



<b>1</b>	<b>塀の高さ</b>	<input type="checkbox"/>
塀の高さは、2.2m以下である。 <1.2m以下>		
<b>2</b>	<b>塀の健全性</b>	<input type="checkbox"/>
塀に傾き、ひび割れ、ぐらつきが無い。 <同上>		
<b>3</b>	<b>控え壁の有無</b>	<input type="checkbox"/>
塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁がある。 ※塀の高さが1.2m以下の場合、控え壁不要のため、○としてください。 <「塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出」した控え壁がある>		